



令和 5 年 6 月 20 日

(6/23) 広島大学法学部 特別公開講座「衆院選 in 広島」を開講します**情報提供**

広島大学では、6月23日(金)に「広島大学 75+75 周年記念事業」の一環として、衆議院議員選挙をテーマに特別公開講座を開催します。衆議院が「解散」する意味、選挙報道の裏側など、本学法学部の3人の研究者と、広島テレビの長島解説委員がそれぞれの視点から、講義やディスカッションを行います。

18歳選挙権を実現する改正公職選挙法の施行から、はや7年。この機に学生の皆様も、有権者として選挙に向き合ってみませんか。高校生や大学生から、どなたでも大歓迎です。

※取材につきましては、記者席のご用意がございます。また、講座全般を取材いただけます。

【日時】2023年6月23日(金) 18:30~20:30

【開催形式・場所】

対面とオンラインの両方で開催します。(いずれも参加無料)

・対 面 (定員 40 人):

広島大学東千田キャンパス 総合校舎 L 棟 5 階 地域連携フロア SENDA LAB

※キャンパス内の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

・オンライン (定員 100 人): Zoom

【お申込み URL】 <https://forms.gle/dSWybMkGcaFRSjQb7>

(申込期限: 2023年6月22日(水) 期限延長しました)

※本学 HP お知らせ: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/77487>

【プログラム概要】

■1 時限目 講義 18:30 ~ 19:30

- ・衆議院と解散: いつ、なぜ衆議院は解散されるのか

広島大学 法学部長 永山 博之

- ・選挙報道の裏側

広島テレビ解説委員 長島 清隆

- ・誰がためにルールはある

広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授 湯川 勇人

- ・データで読み解く有権者の行動

広島大学 大学院人間社会科学研究科 助教 重村 壮平

■2 時限目 ディスカッション 19:35 ~ 20:30

1 時限目の講師 4 人によるフリーディスカッション

※受講者からご質問・ご意見をいただきながら、進めていきます。

【お問い合わせ先】

広島大学学術・社会連携室地域連携部 三戸

Tel : 082-424-5871

E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数: A4版 3枚(本票含む)



衆院選 in 広島

日程

2023年6月23日（金）18:30～20:30

受講
形態

対面

東千田キャンパス総合校舎L5階地域連携フロアSENDA LAB
※公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

オンライン

Z o o m

対象

どなたでも（高校生、大学生も歓迎！）

定員

（対面）40人 （オンライン）100人（申込先着順）

受講料
無料

プログラム

1時限目 講義（18:30～19:30）



永山



長島



湯川



重村

衆院選と解散：いつ、なぜ衆議院は解散されるのか
選挙報道の裏側
誰がためにルールはある
データで読み解く有権者の行動

広島大学 法学部長 永山 博之
広島テレビ解説委員 長島 清隆
広島大学 准教授 湯川 勇人
広島大学 助教 重村 壮平

2時限目 ディスカッション（19:35～20:30）

1時限目の講師4人によるフリーディスカッション
※受講者からご質問・ご意見をいただきながら、進めていきます。

申込方法

申込フォームからお申込みください。
<https://forms.gle/dSWyBMkGcaFRSjQb7>



締切：6月21日（水）

お問い合わせ先
広島大学学術・社会連携部地域連携部門
082-424-5691

会場マップ



衆院選 in 広島

衆院選と解散：いつ、なぜ衆議院は解散されるのか

広島大学 法学部長 永山 博之



衆議院議員選挙といえば、「解散」です。参議院にはないこの制度が、民主制の中でどのような意味を持つのか、これまでどのように運用されてきたのか、首相は解散の実施をどのように判断してきたのか、このタイミングで解散の可否を判断するとすれば、何が重要な要素になるのか、といった問題から、政治をみる視点についてお話します。

選挙報道の裏側

広島テレビ解説委員 長島 清隆



選挙の報道では正確性と公平性が求められることは言うまでもありません。また、開票速報特番では「なぜ開票率0%で当確を出せるの?」「出口調査はどうやるの?」など、テレビを見ているみなさんが不思議に思うこともあるでしょう。それらの疑問にできる限りお答えします。

誰がためにルールはある

広島大学 准教授 湯川 勇人



公正な選挙のルールは誰のためにあるのでしょうか。1925年の普通選挙法の制定時から1940年の大政翼賛会の結成までの日本の選挙過程を事例として、「公正な選挙」のルールに関して、どんな議論が交わされていたのかを振り返り、有権者を取り残さない選挙のルールについて考えていきます。

データで読み解く有権者の行動

広島大学 助教 重村 壮平



有権者は、選挙のたびに「候補者や政党の選択」を迫られるため、選挙が立て続けに行われると、負荷が大きくなり、選挙に「疲れ」を感じるかもしれません。今年は、4月に統一地方選が行われ、次の衆院選のタイミング次第では、選挙が連続することになります。そこで、選挙が続くことで、有権者の行動がどのような影響を受けるのか、選挙のデータを参照しつつ、読み解きたいと思います。